



地方自治体における情報システム（生活保護）の 標準仕様書作成に向けた調査研究

第2回有識者検討会（2022年6月10日） 事務局資料

第2回有識者検討会 次第

<日時・場所>

令和4年6月10日（金） 10:00～12:00 オンライン開催（Zoom）

<議題>

- I. 開会
- II. 議事
 1. 令和4年度上半期検討会予定の共有
 2. 第1回検討会後の収集意見の共有
 3. 調達仕様書の作成単位に係る共有
 4. 全国意見照会における論点に係る協議
 5. 全国意見照会の実施方法の共有
- III. 閉会

<配布資料>

- 資料1 第2回有識者検討会 事務局資料（本紙）
- 資料2 全国意見照会資料（参考：前回意見照会からの検討状況）


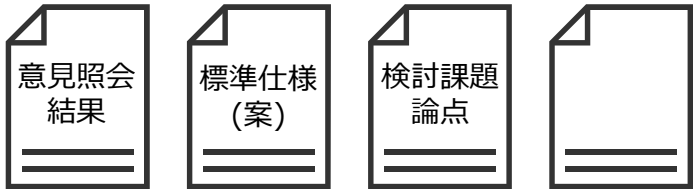


1. 令和4年度上半期検討会予定の共有

1. 令和4年度上半期検討会実施概要

共有

1.1. 上半期に予定する検討会

- 令和4年度上半期の検討会においては、6月の意見照会、8月の標準仕様書1.0版公開に向け、検討・協議を実施します（下半期については、検討事項の状況に応じて調整）。
- 本日の第2回検討会では、意見照会に向けた協議を行います。

<p>実施済</p> <p>第1回 (5月)</p>	<ol style="list-style-type: none">1. 出席者挨拶2. 令和4年度検討会実施概要の説明3. 生活保護 標準仕様書に係る協議4. レセプト管理システム 標準仕様書に係る協議5. 医療扶助 オンライン資格確認の要件に係る協議6. 意見交換 	<p>第3回 (7月)</p>	<ol style="list-style-type: none">1. 意見照会 結果共有2. 意見照会 反映方針協議3. 標準仕様書（案）の共有 （照会結果の仮反映版）4. 検討課題、論点の共有 
<p>本日</p> <p>第2回 (6月)</p>	<ol style="list-style-type: none">1. 令和4年度上半期検討会予定の共有2. 第1回検討会後の収集意見の共有3. 調達仕様書の作成単位に係る共有4. 全国意見照会における論点に係る協議5. 全国意見照会の実施方法の共有  <p>➡ 協議結果を踏まえ、意見照会を実施</p>	<p>第4回 (8月)</p>	<ol style="list-style-type: none">1. 標準仕様の認識合わせ<ul style="list-style-type: none">・ 生活保護、レセプト管理2. 検討課題、論点の共有3. 下期の取組み方針<ul style="list-style-type: none">・ 検討対象（論点）、検討会スケジュール等  <p>➡ 協議結果を踏まえ、1.0版を確定</p>

2. 第1回検討会後の収集意見の共有



2. 第1回検討会後の収集意見の共有

2.1. 生活保護システム標準仕様書に係る確認論点

共有

- 昨年度の検討の中で「1.0版へ反映」とされている項目のうち、以下の観点にて整理・分類できる項目については、昨年度に整理した標準仕様書への反映方法（表現、内容等）の見直しが必要と考えました。見直しにあたり、下図に示す観点で整理し、前回検討会でご確認いただきました。

1.0版への反映にあたり再検討が有用と考えられる観点と具体件数

	観点	カテゴリの詳細		該当件数
1	特定の自治体の運用に限定される内容が含まれる	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 特定の自治体でしか使っていない機能や使う頻度が少ないと思われる機能について、追加してほしいと要望があったものである ✓ 必須/オプションについて検討の余地がある 	自治体規模に起因	2
2			自治体特有の業務に起因	38
3	自治体意見の趣旨に適切に対応していない	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自治体から届いた意見に対して、対応方針が対応しておらず、解決にならないと考えられるものである ✓ 用語の定義が不十分であることが一因と思われるものも多い 	用語の定義が不十分	3
4			自治体の要望の趣旨くみ取りが不十分	17
5	その他	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 他で回答している対応方針と矛盾しているものである ✓ 対応方針と対応区分が相互に矛盾しているものもあった 	他の対応方針と矛盾している	10
6			<ul style="list-style-type: none"> ✓ 対応方針内の記述に誤字や誤りについての修正が必要 ✓ 修正後は、別のカテゴリに統合予定の内容である 	対応方針に誤字や誤りがあるため見直しが必要である

2. 第1回検討会後の収集意見の共有

2.2. レセプト管理システム標準仕様書に係る確認論点

- レセプト管理システムの標準仕様における必須／オプション／対象外の整理について、以下のとおり論点別に整理を行い、前回検討会でご確認いただきました。

各要件の振り分けイメージ（概観）

	整理方針	①分析関連の機能・帳票	②健康管理支援機能	③ベンダ間で差異
必須機能	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 全自治体での実装が必要／有用である 	<ul style="list-style-type: none"> 傷病毎実数・割合表 重複受診者名簿 医療費増減構成要素分析 「集計表(傷病別/年度別 等) 処方箋発行一覧 診療報酬明細書等状況報告用基礎データ 	<ul style="list-style-type: none"> 投薬情報管理 健診結果管理（調整中） 	<ul style="list-style-type: none"> 適用情報直接入力 レセプト情報手動返付登録 原本管理（システムで管理している帳票の出力時の副本表示） 再審査請求結果一覧 オンライン再審査請求エラー確認 帳票一覧表示
オプション機能	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 団体規模によりニーズ／必要性が異なる ✓ 制度上、必須としていない 	<ul style="list-style-type: none"> 高額医療費リスト 後発医薬品切替促進一覧（後発品全明細等） 後発医薬品利用促進通知書 実施体制状況報告用基礎データ 生活習慣病重症化予防指導対象候補者一覧 	<ul style="list-style-type: none"> 健康指導対象者検索 健康指導内容管理 特定医療切替可能対象者一覧 	<ul style="list-style-type: none"> 再審査請求結果一括処理機能 レセプト点検状況進捗確認 資格審査エラーリスト レセプト自動点検 自動点検予約 レセプト帳票作成予約 レセプト取込結果一覧印刷
標準化対象外	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自治体でのシステム化不要 	<ul style="list-style-type: none"> 地域別月次分布（金額・事業所等） 	<ul style="list-style-type: none"> データヘルス分析集 	<ul style="list-style-type: none"> 点検実施体制状況（帳票）

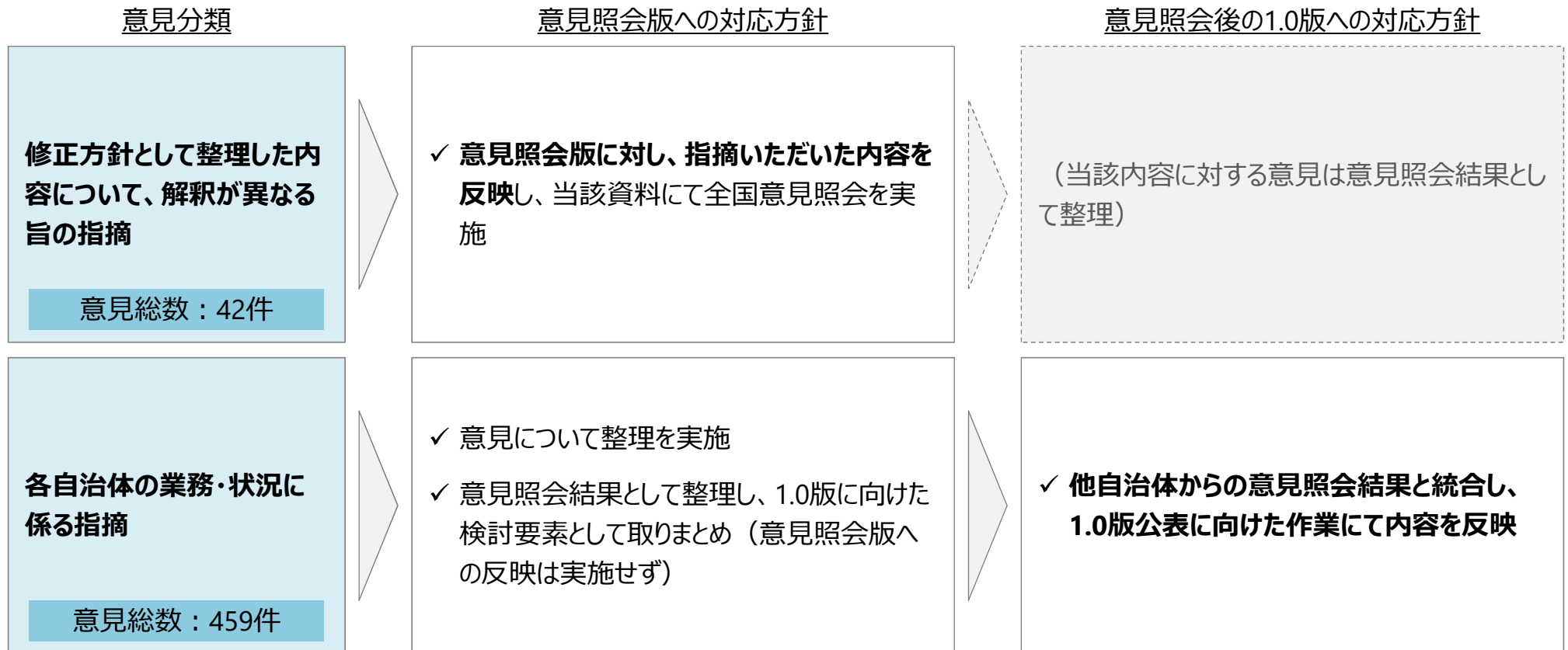
2. 第1回検討会後の収集意見の共有

2.3. 検討会後の収集意見の取り扱い方針

共有

- 第1回検討会で、前ページの論点に沿って生活保護システム・レセプト管理システムの標準仕様に係る意見収集を依頼させていただき、501件のご指摘を頂戴しました。
- いただいた意見において、解釈が誤っていた点について修正を反映した状態にて、全国意見照会を実施します。

生活保護システム・レセプト管理システムの標準仕様に係る収集意見の取扱い方針



2.4. 検討会後の収集意見への対応（1/4） - 生活保護

- 第1回検討会で、前ページの論点に沿って生活保護システム・レセプト管理システムの標準仕様に係る意見収集を依頼させていただきました。いただいた意見で整理したものは下記のとおりです。

生活保護システムの標準仕様に係る収集意見への対応（1/3）

標準仕様書内カテゴリ	事務レベル2	1.7. 保護開始の要否判定及び処分	作業	連絡票の作成
再検討の観点 (p5)	自治体特有の業務に起因			
標準仕様修正案 (見え消し)	①以下の情報を登録・修正・削除・照会できること。 -新規申請世帯の保護決定に関する情報 ・保護申請世帯の情報を被保護世帯情報として引き継げること。 ・保護申請世帯及び保護開始する世帯にケース番号が付番できること。			
上記のとおり修正を行った理由	却下や取下げの場合も含めて一元管理するためには、保護申請世帯にケース番号を付番できることが業務効率化につながると思われるため。			
ご意見発元	横浜市、館山市、佐世保市、東大阪市、三鷹市からご意見あり			

2.4. 検討会後の収集意見への対応（2/4）－生活保護

- 第1回検討会で、前ページの論点に沿って生活保護システム・レセプト管理システムの標準仕様に係る意見収集を依頼させていただきました。いただいた意見で整理したものは下記のとおりです。

生活保護システムの標準仕様に係る収集意見への対応（2/3）

標準仕様書内カテゴリ	事務レベル2	4.1. 介護券の交付（介護保険制度適用）	作業	連絡票の作成
再検討の観点（p5）	対応方針に誤字や誤りがあるため見直しが必要である			
標準仕様修正案（見え消し）	<p>①以下の帳票を作成できること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被保護者情報連絡表（保険者用） ・介護扶助受給者情報連絡表（保険者用） ・被保護者異動連絡表（国保連用） ・被保護者異動訂正連絡票（国保連用） ・適用除外施設入所者情報連絡票 <p>②「被保護者異動連絡表（国保連用）」、「被保護者異動訂正連絡票（国保連用）」は、国保連合会へデータ転送できるデータとして作成できること。</p>			
上記のとおり修正を行った理由	被保護者異動訂正連絡票（国保連用）は介護保険適用外の方に対して使用する様式であり、利用しないことの確認が取れたため。			
ご意見発出元	横浜市、館山市、東大阪市からご意見あり			

2.4. 検討会後の収集意見への対応（3/4）－生活保護

- 第1回検討会で、前ページの論点に沿って生活保護システム・レセプト管理システムの標準仕様に係る意見収集を依頼させていただきました。いただいた意見で整理したものは下記のとおりです。

生活保護システムの標準仕様に係る収集意見への対応（3/3）

標準仕様書内カテゴリ	業務名	1.7. 保護開始の要否判定及び処分	帳票名	保護決定通知書
再検討の観点（p5）	対応方針に誤字や誤りがあるため見直しが必要である			
標準仕様対応案（見え消し）	<ul style="list-style-type: none"> 最低生活費を表示する場合は、収入認定額や前月からの収入充当額などを印字し、支給額の計算根拠を表示できる設定にして欲しい。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 各団体の業務継続性や現状のパッケージベンダーの実装を勘案し原案のとおりとする。 ➤ 各団体の業務継続性や現状のパッケージベンダーの実装を勘案し、ご意見のとおりシステム印字項目「生活扶助費内訳」を必須として追加する。 収入に関しても記載し、最低生活費－収入＝保護費の図式を示すべき。生活扶助の内訳（1類、2類、各種加算）についても記載が欲しい。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 各団体の業務継続性や現状のパッケージベンダーの実装を勘案し、ご意見のとおりシステム印字項目「収入充当額」を必須として追加する。 			
上記のとおり修正を行った理由	生活扶助費内訳の記載があると、根拠が明確になり受給者の理解促進につながると考えられるため。			
ご意見発元	横浜市、館山市、佐世保市、東大阪市からご意見あり			

2. 第1回検討会後の収集意見の共有

共有

2.4. 検討会後の収集意見への対応（4/4） - レセプト管理

- 第1回検討会で、前ページの論点に沿って生活保護システム・レセプト管理システムの標準仕様に係る意見収集を依頼させていただきました。いただいた意見で整理したものは下記のとおりです。

レセプト管理システムの標準仕様に係る収集意見への対応（1/1）

標準仕様 書内カテゴリ	帳票一覧（レセプト管理システム）			
標準仕様 修正案 (見え消し)	医療費増減構成要素該当者一覧			
ご意見発出 元	富士通Japanからご意見あり			
標準仕様 書内カテゴリ	事務レベル2	表示設定	作業	表示項目設定
標準仕様 修正案 (見え消し)	①レセプト表示項目を設定できること。 ②複数レセプト分の選択された項目のみを同一画面に並べて表示できること。			
ご意見発出 元	富士通Japanからご意見あり			
上記のとおり 修正を行っ た理由	ベンダのサービス提供状況を勘案したため。			

3. 調達仕様書の作成単位に係る共有



3. 調達仕様書の作成単位に係る共有

3.1. 標準仕様書の作成単位に係る検討状況（1/2）

- 生活保護業務の標準仕様書として、生活保護システムとレセプト管理システムについての取りまとめを進めています。
- 生活保護業務における標準仕様書の構成については、自治体や各システムベンダの状況を踏まえ以下の2パターンにて検討し、次ページに示す検討結果を踏まえ、「1つの仕様書とし機能群は選択可能」のパターンに決定しました。

標準仕様書の作成単位

パターン	採用 1つの仕様書とし機能群は選択可能	別の仕様書として作成																										
構成イメージ	<p>生活保護標準仕様</p> <p>標準仕様書 -本編-</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>生活保護</th> <th>レセ管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2章（業務フロー・ツリー図）</td> <td>2章（業務フロー・ツリー図）</td> </tr> <tr> <td>3章（機能要件）</td> <td>3章（機能要件）</td> </tr> <tr> <td>4章（帳票要件）</td> <td>4章（帳票要件）</td> </tr> <tr> <td>5章（データ要件/連携要件/非機能）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6章（用語）</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	生活保護	レセ管	2章（業務フロー・ツリー図）	2章（業務フロー・ツリー図）	3章（機能要件）	3章（機能要件）	4章（帳票要件）	4章（帳票要件）	5章（データ要件/連携要件/非機能）		6章（用語）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>生活保護標準仕様</th> <th>レセ管標準仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>標準仕様書 -本編-</td> <td>標準仕様書 -本編-</td> </tr> <tr> <td>2章（業務フロー・ツリー図）</td> <td>2章（業務フロー・ツリー図）</td> </tr> <tr> <td>3章（機能要件）</td> <td>3章（機能要件）</td> </tr> <tr> <td>4章（帳票要件）</td> <td>4章（帳票要件）</td> </tr> <tr> <td>5章（データ要件/連携要件/非機能）</td> <td>5章（データ要件/連携要件/非機能）</td> </tr> <tr> <td>6章（用語）</td> <td>6章（用語）</td> </tr> </tbody> </table>	生活保護標準仕様	レセ管標準仕様	標準仕様書 -本編-	標準仕様書 -本編-	2章（業務フロー・ツリー図）	2章（業務フロー・ツリー図）	3章（機能要件）	3章（機能要件）	4章（帳票要件）	4章（帳票要件）	5章（データ要件/連携要件/非機能）	5章（データ要件/連携要件/非機能）	6章（用語）	6章（用語）
生活保護	レセ管																											
2章（業務フロー・ツリー図）	2章（業務フロー・ツリー図）																											
3章（機能要件）	3章（機能要件）																											
4章（帳票要件）	4章（帳票要件）																											
5章（データ要件/連携要件/非機能）																												
6章（用語）																												
生活保護標準仕様	レセ管標準仕様																											
標準仕様書 -本編-	標準仕様書 -本編-																											
2章（業務フロー・ツリー図）	2章（業務フロー・ツリー図）																											
3章（機能要件）	3章（機能要件）																											
4章（帳票要件）	4章（帳票要件）																											
5章（データ要件/連携要件/非機能）	5章（データ要件/連携要件/非機能）																											
6章（用語）	6章（用語）																											
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 生活保護業務の標準仕様書のうち、共通部分の一元的な検討・管理が可能 生保システムで一部レセ管機能を実現している自治体・ベンダは実態にあった検討が可能 他の標準仕様検討と異なる構成での標準仕様書になるものの、特段の問題は発生しない（デジタル庁に問題ない旨を確認済） 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの仕様書を個別管理しなければならないため、管理が煩雑 生保システム、レセ管システムの現在の市場動向に合っており、ベンダ対応が容易 自治体側で利用する担当者（ケースワーカー、医療担当係）が分かれて管理されることが多いことから、自治体側に違和感が少ない 																										

3. 調達仕様書の作成単位に係る共有

共有

3.1. 標準仕様書の作成単位に係る検討状況（2/2）

- 生活保護業務内で統一的に整理すべき範囲を一本化することで管理を容易にするとともに、生活保護・レセプト管理それぞれで整理すべき範囲を分離して検討できるよう標準仕様書を整備することで、標準仕様書の活用と管理の両面での円滑化を図ります。

標準仕様書の作成単位の検討にあたっての比較概要

	採用 1つの仕様書とし機能群は選択可能	別の仕様書として作成
利点	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 共通する部分の管理が容易（生活保護-レセプト管理間での整合、デジタル庁が管理する非機能要件の対応 等） ✓ 生活保護・レセプト管理いずれかで実装すれば良い、グレーゾーンの機能（生保/レセ管での重複機能、オン資対応等）についての記載が容易 ✓ サブユニットで実装不要とした場合においても、適合性評価には影響なし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 生活保護、レセプト管理、それぞれの単位で独立して検討することが可能 ✓ 生活保護システムとレセプト管理システム間の連携について、デジタル庁にて整理する対象となり、制度所管府省庁での検討から除外可能
課題	<ul style="list-style-type: none"> ✓ サブユニット間の連携については制度所管府省庁にての整理が必要（デジタル庁での整理対象外） 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 共通する事項について、生活保護、レセプト管理それぞれに反映作業を実施することが必要（仕様書を完全に二重にて管理）
他省事例	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 総務省-選挙人名簿 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 同一の制度の中であるものの、ベンダの製品の調達単位が分かれている（選挙人名簿、期日前・不在者投票管理、当日投票管理、在外選挙人管理） ✓ 総務省-税（収納・滞納） <ul style="list-style-type: none"> ✓ サブユニット化ではないが、収納または滞納いずれかで実装すればよいというグレーゾーンの機能を扱う記載あり 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 文部科学省-就学援助 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 就学援助の中で、“就学援助”と“学齢簿”という異なる制度の業務が対象となっている ➢ 文科省内で各業務の主管部署が異なっている

4. 全国意見照会における論点に係る協議

4. 全国意見照会における論点に係る協議

4.1. 意見照会で収集する事項と現在の状況の整理

- 標準仕様書の作成においては、以下に示す5つの項目について整理します。
- 自治体・ベンダに向けた意見照会は、これらの整理の精緻化を図る目的で実施しており、生活保護システムの標準仕様書については、昨年度検討の中で意見を収集しています。

意見照会で収集する事項

各仕様書の整理状況

項目名	概要	照会先	生活保護	レセプト管理
記載項目	✓ 標準機能として具備すべき機能の項目が足りているか（過不足はないか）	全国自治体	意見照会を実施し 指摘を仕様書に反映	（意見照会未実施）
具体の機能記載	✓ 機能の具体的な要件が適切に記載されているか	全国自治体	意見照会を実施し 指摘を仕様書に反映	（意見照会未実施）
機能の構成単位	✓ 整理している機能の構成単位は実際の構築にあたり問題になる内容となっていないか	ベンダ	意見未収集	（意見照会未実施）
機能の必須・オプション	<ul style="list-style-type: none"> ✓ システムとして必須で具備すべき項目を定義できているか ✓ 自治体により要否が異なる項目についてオプションとして定義できているか 	全国自治体	意見照会を実施し 指摘を仕様書に反映	（意見照会未実施）
オプションの構成単位	✓ オプション機能について、自治体がシステム調達時に活用しやすい状態になっているか	ベンダ	意見未収集	（意見照会未実施）

4. 全国意見照会における論点に係る協議

4.2. 意見照会での情報収集方針

- 今回実施する全国意見照会では、前述の整理を踏まえ、必要事項に絞って整理することを想定しています。
- 収集した意見については、以下のように対応時期を整理し、反映する想定です。
 - ✓ 自治体からの意見については、可能な限り1.0版に反映し8月の公表を目指す
 - ✓ ベンダからの意見については、大幅な変更が必要な部分は1.1版への反映を目指す（反映可能なものは全て1.0版に含める）

令和4年6月の意見照会で確認する範囲と対応方針

生活保護システム

レセプト管理システム

自治体向け

- ✓ 令和3年度の意見照会にて全体を確認しているため、**対象項目を絞っての意見収集**を実施
 - ▶ 標準仕様書案に対する前回の意見照会結果の反映内容について、**確認対象機能を特定して意見照会を発出**
- ✓ 意見整理のための質問事項を限定し、質問回答表を用いて意見収集を実施（自治体規模の考え方 等）

- ✓ 初見であるため、令和3年度の生活保護システムの全国意見照会にて実施した調査と同様の形式にて、**全体についての意見を収集**
- ✓ （左記生活保護システムと同様の表を用いて）意見整理のための質問事項を限定し、質問回答表を用いて意見収集を実施

収集した意見の対応を1.0版へ反映

ベンダ向け

- ✓ 調達されるベンダ側の観点にて、機能の分割単位やオプション機能の分割単位について、ベンダ意見を収集

- ✓ （左記生活保護システムと同様）調達されるベンダ側の観点にて、機能の分割単位やオプション機能の分割単位について、ベンダ意見を収集

大幅な変更は1.1版へ反映（可能な範囲は1.0版へ反映）

4. 全国意見照会における論点に係る協議

4.3. 意見照会における生活保護システムに係る質問事項

- 今回実施する意見照会において、想定している質問事項は下記のとおりです。

生活保護システムに係る意見照会での質問事項

確認要素	意見収集項目	意見収集方法
標準仕様書に係る確認	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 前回の意見照会時に収集した意見を踏まえて修正した要件部分に絞り、確認を依頼 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 修正していない項目に係る意見については収集対象外 ➢ オン資に係わる項目に係る意見については収集対象外 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 各要件を記載したExcelの修正箇所に「○」を記載 ✓ 当該要件の行に回答欄を設け、意見を収集 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 収集対象外の要件の行については、回答欄にあたるセルをグレーアウトし、回答不要である旨を明記
自治体規模に係る意見収集	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自治体規模に係る考え方について、「管轄福祉事務所数」「管轄基礎自治体数」「被保護者数」の3種の整理についての意見を収集 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ それぞれについて、以下の考え方で妥当であるかについて確認 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 管轄福祉事務所数／管轄基礎自治体数については、対象業務が通常の福祉事務所と異なるため、監査等に係る機能群が追加 ➢ 被保護者数については、対象者数が多く業務効率化／対応誤りの防止のため、個別機能要件の中で一括処理／一覧処理が追加

4. 全国意見照会における論点に係る協議

4.4. 意見照会におけるレセプト管理システムに係る質問事項

- 今回実施する意見照会において、想定している質問事項は下記のとおりです。

レセプト管理システムに係る意見照会での質問事項

確認要素	意見収集項目	意見収集方法
標準仕様書に係る確認	✓ レセプト管理システムの各種要件について、全般の確認を依頼	✓ 昨年度実施した生保システムの意見照会の実施方法を踏襲
自治体規模に係る意見収集	✓ 自治体規模に係る考え方について、「管轄福祉事務所数」「管轄基礎自治体数」「被保護者数」の3種の整理についての意見を収集	✓ それぞれについて、以下の考え方で妥当であるかについて確認 <ul style="list-style-type: none">➤ 管轄福祉事務所数／管轄基礎自治体数については、対象業務が通常の福祉事務所と異なるため、監査等に係る機能群が追加➤ 被保護者数については、対象者数が多く業務効率化／対応誤りの防止のため、個別機能要件の中で一括処理／一覧処理が追加
厚生労働省の施策に係る確認	✓ レセプト点検に係わる機能要件化についての意見を収集	✓ 可能な限りの機能実装に向け、ベンダとの調整を実施予定
	✓ 健康管理支援事業に係わる機能要件化についての意見を収集	✓ どんな機能が有用であるかについて、「健診データの充実」「データ抽出機能の充実」「その他」の3つの選択肢にて確認

5. 全国意見照会の実施方法の共有



5. 全国意見照会の実施方法の共有

5.1. 意見照会の期間

共有

- 今回の全国意見照会は、意見回答期間を3週間と設定し、各自治体へ回答を依頼します。
 - ✓ 次回の検討会では、意見照会結果の速報と意見の取り扱いについて協議する予定です

令和4年 6-7月				
月	火	水	木	金 本日
6/6	7	8	9	10 第2回検討会
13	14	15	16	17 全国意見照会発出 (予定)
20	21	22	23	24
← 全国意見照会期間 →				
27	28	29	30	7/1
← 全国意見照会期間 →				
4	5	6	7	8
← 全国意見照会期間 →				
11	12	13	14	15
18	19 第3回検討会	20	21	22

5. 全国意見照会の実施方法の共有

5.2. 意見照会時に配布する資料の整理

共有

■ 昨年度の意見照会時の資料を踏まえ、以下の資料を配布します。

No.	配布資料		意見対象	資料番号	
				生活保護	レセプト管理
1	事務連絡		—	• 別紙02-1	
2	標準仕様書（本編）		—	• 別紙03	
3	業務フロー		△	• （別紙1）	• （別紙1）
4	機能要件		○	• （別紙2）	• （別紙2）
5	帳票要件	帳票一覧	—	• （別紙3）	• （別紙3）
6		詳細要件	○	• （別紙4）	• （別紙4）
7		レイアウト	○	• （別紙5）	• （別紙5）
8	回答様式	機能要件・帳票要件に対する回答様式	—	• 別紙04-1	• 別紙04-2

【凡例】 ○：意見収集対象 △：参考扱い —：対象外

Real Partner[®]

